

(仮称)野洲市立病院整備基本計画についての市民懇談会結果概要

1. 日 時 平成 27 年 3 月 7 日 (土) 10 時 00 分～12 時 15 分

2. 場 所 野洲市役所 3 階第 1 委員会室

3. 参加者 15 名

4. 開催趣旨

(仮称)野洲市立病院整備基本計画策定における第 1 回評価委員会を終えた現在の検討状況の報告とそれに関する市民との意見交換。

5. 市長説明要旨

- 基本計画を策定に至るまで経過説明
- 目指している病院は「病院に行かなくてもいい病院」である(予防医学に特化)。
- 野洲病院の平成 26 年度実績は、市立病院への期待感や士気が高まっていることで収支が良好となっている、その良好な実績で収入部分の補正をしている。
- 医療機器費、職員給与費、医薬品費や診療材料費など野洲病院の数値を参考にしながら、もっと現実に近い収支計画となるよう、現在、補正の作業を進めている。
- 野洲病院は施設の耐震化が出来ていない、資産がなくて多くの借金がある。それを野洲市が責任をもって整備すれば病院は成立する。年間約 10 万人が利用する医療拠点は守っていく必要がある。

6. 主な意見

- ・市民の生命・財産を守る最前線が市役所である。財政が破綻するのはダメだが、お金がないから市民の命を守らなくていいということでは我々は税金を払う必要はない。ギリギリのところ命を守る施策を支えてほしい。
- ・一番心配しているのは採算性である。経済が低迷している現在の状況でどうして成立つか疑問である。
- ・市として利用が増えるようなキャンペーンをしたらどうか、最近の野洲病院は良くなっていると感じる。そうした人を増やしていきたい。
- ・野洲市の魅力は自然であり、近隣に大きな病院があるので、規模の小さい野洲に総合病院は必要ないのでは。また、健康福祉センターをもっと充実させたらどうか。
- ・県内の病院では病床稼働率約 60～70%が多いのに対し、95%の稼働率は過大ではないか、また、企業債を発行が前提で、県・国の同意が必要になると思われるが、この収支計画について県・国がどういう反応を示しているのか、更に交付税が算入されず、収支計画が大きく揺らいでくることを心配している。
- ・病院に行かなくていい病院は賛成である。

平成 26 年度第 3 回まちづくり井戸端座談会の結果概要

テーマ 3 「(仮称) 野洲市立病院整備基本計画について」抜粋

1. 日 時 平成 27 年 2 月 20 日 (金) 19 : 00 ~ 21 : 00

2. 場 所 野洲市役所本館 3 階 第 1 委員会

3. 参加者 5 名

4. 目 的

直近四半期の市政運営や議会で話題になった市民に関心の高いトピックスを集約して最新の状況を報告し、市民の皆さんと気軽に雑談的な雰囲気の中で意見交換をしようとするもの。

5. 主な意見等

- ・病院整備は前に進んでいるのか。土地を病院会計で買い戻すことは市によってプラスなのか、マイナスか？
→ 市の一般会計か、病院事業の特別会計で買うかで、市としては一緒である。病院会計で買ったほうが、起債の償還に対し国交付金がありメリットがある。
- ・病床数が 199 から 180 に減るのはなぜか。割りに合わないのか。
→ 建設費が高騰する中で、効率的な病床数を検討した結果、経費面と効率面で、1 棟 45 床が 4 棟で合計 180 床とし検討中である。看護師の二交代制や病棟は 4 人部屋を基本にするなど、効率的でかつコストが落ちる病床数を市民ニーズにかなう形で検討していく。
- ・産科がなくなったり、病院規模が縮小になったりしている。経費の削減や稼働率をあげ利用者数が増えることは、市民の健康を守るという基本理念との整合はとれているのか。
→ 稼働率を上げるということは、病人を増やそうとしているわけではなく、大部屋のため、使用されていないベッドを小部屋や個室を設定することによって、有効活用しようとするものである。この結果、現在は他市の病院に行かれている患者さんを取り込むことができる。
- ・産科がなくなるなど内容が抑えられているが。
→ 抑えてはいない。産科については、市内での出産数は約 500 人であるが、この数を二つの病院で受け持つよりは、ひとつの病院で受け入れたほうが効率的である。野洲病院では医師一人で約 100 人を対応しているが、ハードワークである。医師数を増やし産科を成立させることも可能ではあるが結果、市内の産科クリニックに影響を与えることになる。耳鼻咽喉科についても市内の開業の状況をみて検討する必要がある。
病児保育・病後児保育の機能については整備検討したい。医業収支については、野洲病院の平成 26 年ベースで試算したり、効率的な病院にしたりすることによってもっとよくなる。
また、病院をつくるために都市計画税や新たな税など増税はない。
- ・市民にもっと発言させてほしい。
- ・病院については、必要なものであることは間違いないので、ギリギリまでコストを下げてほしい。